

令和6年度 洋光台地域ケアプラザPDCAシート_公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価）

総括表

事業計画

地域の現状と今後の方向性

洋光台は住宅地(集合住宅と戸建て)と洋光台駅周辺の商業地からなり、高齢化率は31.7%と磯子区内で一番高い町となっています。高齢者世帯(単身世帯を含む)の割合も高く、消費者被害も多いことから、見守り支援など地域での支えあいの体制が課題となっています。地域活動が活発なエリアですが、コロナ禍で活動できない時期を経て、さらにメンバーの高齢化もあって、サロンや元気づくりステーションなど解散に至った活動もあります。また、エレベーターのない集合住宅や坂道も多く、高齢者や障害者の行動制限、脚力低下・フレイルの要因にもなっています。一方、集合住宅等には若い世代も多く、子育て支援や世代間交流の機会も必要となっています。この点についても、プレイパークやハロウィンイベント、洋光台こどもフェスタ等の地域ぐるみの子育て支援や世代間交流を目的とした様々な活動が展開されています。一方で担い手不足の状況もあり、新たな担い手の育成も課題となっています。
昨年から地域のお祭りや行事が以前に近い形式で行われるようになり、積極的に地域に出向き活動支援に取り組みます。また、職員間・部門間の連携のもと、地域課題の解決、多様な個別相談対応にも力を入れていきます。

今年度の重点的な取組

新規	継続	具体的な取組内容
■	□	体験や参加者同士のワークを中心とした、実生活に活かせる防災講座を実施する。講座終了後に、コロナ前に開催した講座の参加者にも声をかけ、防災に関する知識を地域に広める活動に繋がることを目指す。
■	□	ボランティア活動や地域活動の内容を整理し、分かりやすく周知できるよう工夫する。また、シニアボランティア登録講座を開催するなど、地域活動・ボランティア活動が活発となるよう働きかける。
■	□	スイッチON磯子第4期の振り返り、第5期の策定に地域の方が主体的に関われるよう、区役所・区社協と協力して取り組む。また、地域住民のスイッチON磯子認知度向上の為、広報誌などで策定の進捗などをお知らせする。地域支援チームが、情報交換から一歩進んだ取り組みとなるよう、担当者と相談しながら内容を検討し、協力していく
□	■	認知症理解に係る住民参加型の活動「RUN伴」にCPとして参加し、今年度は関係各所に呼びかけて参加の輪を広げることを目指す。
■	□	シニアライフ講座の内容・講師をリニューアルする。磯子区版エンディングノート、相続・遺言、入所施設に関する連続講座を開催する。変化している現在の状況や新しい知見を踏まえ、地域住民に分かりやすく、関心の持てるような普及啓発を行う。

事業報告・事業実績評価

振り返り

地域の行事や様々な活動もかなり制限なく行われるようになってきて、一緒に関わり伴走しなからの支援を心掛けてきた。その中で、長く活動してきた団体が休止を決断したり、地域の体制が変わったりといった変化がみられた年でもあった。また、相変わらず地域包括支援センターの総合相談が多く、緊急的な対応も多くあるため、部門間、部門内の職員連携を心がけてきた。

《重点的な取組について》
・防災講座(全3回54名参加)を実施した。アンケートでは、簡易トイレなどの実体験が高評価であった。
・団体Ⅱのボランティアメニューを見直し、ボランティア登録団体一覧を整理した。シニアボランティア登録講座では4名の方が登録した。
・区役所・区社協と協力して地区振り返りインタビューに取り組んだ。地域支援チーム会議では有意義な情報交換、情報共有ができた。
・RUN伴の港南区・磯子区合同チームに企画・準備から参加、関係各所に呼びかけて参加事業所が増えたため2ルートに増やした。
・シニアライフ講座(施設、相続・遺言等、全3回)に延べ81名の参加があった。磯子区版エンディングノートを紹介して合計47冊配布した。おひとりさまの老後準備では最新サポート事例を紹介し、地域のニーズに合った情報を提供することができた。

区からのコメント

近隣団体や関係機関と連携しながら、広く地域のニーズを拾い上げて各種イベントや事業を行っていただきました。特に、防災講座では子どもや介護を受けている方を対象としたニーズも上がっていることから、さらなる活動の広がりを期待しています。また、地域の声をきっかけに始まったボッチャ体験会が自主サークルにつながるなど、地域主体の活動への伴走支援に意識的に取り組んでいただきました。来年度は第5期地域福祉保健計画の策定に向け、地域課題の把握・分析がさらに深められるよう、区役所・磯子区社会福祉協議会と一緒に取り組んでいただきたいと思います。
地域特性を的確にアセスメントし、高齢者のみならず、幅広い世代に向け、地域に根付いた活動をされています。また、地域住民のニーズを捉えた各種講座を企画・開催することで、認知症支援や権利擁護に関する普及啓発を進めていただいています。
地域ケア会議では、一人暮らしや高齢者のみで生活している世帯が多いという地域の特徴を捉え、重点的に支援が必要となる住民に向けた支援を考えていくことを防災を切り口に個別課題から地域課題として展開して地域の方と共に検討をし、日頃から様々な支援機関との連携のもと、支援を進めていただいております。引き続き、地域の支援機関、地域住民の方、区役所等と連携し、個別支援や地域支援を進めていただければと思います。